

# 議会改革推進会議「検討部会」会議録

令和5年5月26日

亀山市議会

## 議会改革推進会議「検討部会」会議録

- 1 開催日時 令和5年5月26日（金） 午後1時00分～午後1時48分
- 2 開催場所 第1・2・3委員会室
- 3 出席会員  
部 会 長 福 沢 美由紀  
副 部 会 長 新 秀 隆  
部 会 員 櫻 木 善 仁 森 英 之 伊 藤 彦太郎  
小 坂 直 親  
会 長 森 美和子  
副 会 長 服 部 孝 規
- 4 欠席会員 なし
- 5 事務局 議会事務局長 渡 邊 靖 文 議事調査課長 大 泉 明 彦  
書 記 新 山 さおり 書 記 西 口 幸 伸
- 6 案 件 1. 第79回検討部会の確認事項について  
2. 議題  
    (1) 検討課題一覧・スケジュールについて  
    (2) 新たな議決項目の必要性について  
    (3) 子ども議会の実施について  
    (4) 議会の情報化について  
    (5) 旧姓使用について  
3. その他
- 7 経 過 次のとおり

午後1時00分 開 会

○部会長（福沢美由紀君） 皆さん、こんにちは。

議会改革推進会議、第80回検討部会を行います。

まず、第79回検討部会について確認事項でございますが、第79回ときには今までの議会改革の取組の振り返りを行いましたので、特に確認せんらんことや決定事項はございません。

すぐに議題のほうに移っていきたいと思います。

検討課題一覧という表が作ってもうてあると思うんですけども、そこをご覧になってください。

「検討課題一覧・スケジュール」という表がございます。これにつきまして、一応検討課題を上げてもらったり、新規を上げてもらったり、優先せんらんことを上げてもらったりした表ですので、説明を事務局のほうでしていただきます。

新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） では、資料1のほうをご覧ください。

こちらは、完了した課題を除きました現在ある課題の一覧でございます。全部で11課題がございまして、そのうち5つが着手中でございます。それにプラス、今新規と表記をさせていただいておりますが、こちらを今回4つ新規課題ということで追加をしております。そして、色がついていない一番下の2つにつきましては、未着手の課題になっております。さらには、課題番号のところに赤の丸をつけさせていただいておりますが、こちらにつきましては部会長と相談をさせていただきまして、本年度優先的に検討していきたい課題ということで印をつけさせていただいております。

スケジュールについては、これが今現在全ての課題になりますので、どれを優先にしていくのか、この4つ以外にもしていかなければならない課題があるのかなど、ご議論をいただきたいと思います。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

一応、このカルテのオレンジの部分上げてもらったんですけども、スケジュールとして、皆さんにまずお伺いしたいのは、今年取り組む優先の項目が、この27番と47番と49番と51番と上げさせていただいたんですけども、これでええかどうかということですね。ほかにももっとこれは優先せなあかんのと違うかとか、もっとこういう課題があるんじゃないかとか、これは後でもええんじゃないかとか、そういうものがあるのであれば今ここでお伺いしておきたいと思います。まず、じゃあ取りあえずこの丸のついたものだけちょっと丁寧に今から説明をいただきたいと思いますのでお願いします。

新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） そうしましたら、その一覧のほうの赤丸がついたものにつきましては事項のほうにも今上がっておりますので、上から順番に説明をさせていただきたいと思います。

まず検討課題27番ですね。新たな議決項目の必要性についてということで、議会の議決事件の追加を検討するという検討課題でございます。

資料2のほうをご覧ください。

こちらにつきましては、最初、検討課題としては平成25年から上がっておりまして、ご議論の中で都市マスタープランを議決事件として追加をさせていただいております。その中で10年がたち、条例検証を昨年していただきました。その条例検証の中でこの議決事件については、例えば立地適正化

計画ですとか他の計画について、十分各委員会において関与はさせていただいておるんですけれども、追加すべき計画があるのではないかというご意見がございました。そこで今回、この検討していく優先課題をとということで上げさせていただいております。

すみません、先ほどの検討課題のほう、前回意見が出た立地適正化計画を追加してはどうかというご意見があったということをお先ほど申し上げましたが、立地適正化計画とあと都市マスタープラン、現在も議決事件になっておるんですけれども、そちらの今後のスケジュールもちょっと確認いたしましたので、その説明もさせていただきます。

確認しましたところ、まず令和5年度におきまして防災指針というものが中にございまして、防災リスクの調査を行うということです。そして、令和6年度に居住誘導施策の評価を行いたいと考えているということでした。そしてその後、令和7年度、令和8年度、2年間をかけて改定作業を行い、計画を策定したいということでした。

さらには、都市マスタープランにつきましても同時進行で、併せて改定をしていく予定であるということをお聞きしております。ですので、もし議決事件に追加するとなってくると、今年度優先的に検討していかなければならないということで、すみませんが、ちょっと追加で説明させていただきます。

それと、続きまして検討課題47番になるんですけれども、こちらは子ども議会の実施についてということでございます。

こちらにつきましては、プロジェクトチームを設置させていただいて、令和2年の2月からですかね、3回ほどプロジェクトチームを開催されてご議論をしていただきました。それにつきましては、議論をしてはいただいたんですけれども、コロナの関係でストップをしてしましまして今に至っております。条例の検証の中でこのストップしている子ども議会について改めて検討していく必要があるのではないかというご意見をいただきましたので、今回優先課題として上げさせていただいております。

子ども議会を実施しようと思いますと、教育委員会との調整が必要になってまいります、どんな内容でどんなスケジュールで、どういった子供たちを対象にして行うのかというのが教育委員会と調整が必要になってくるかと思えます。そちらの内容を詰めた後、スケジュールとしましては毎年1月から2月にかけて行われます市内調整会議というものがございまして、そこで大きな行事については学校行事が決定されると。その後、各学校がそれぞれの学校行事を決めていくという流れになっているということですので、そこで市内調整会議の中でお示しができるように議会でも調整して企画案を持っていく必要があると思っております。ですので、こちらは今すぐに検討を進めて行うとなると、もうちょっと今年度は難しいのではないかと考えておまして、来年度早ければ開催したいと考えております。

続きまして、検討課題49番、議会の情報化についてでございます。

こちらは新規でまた上げさせていただいたんですが、これまでの議会の情報化、タブレットの活用ですとか導入とかしてきたわけなんですけれども、こちらを一旦、昨年度完了させていただいて、新たに上げさせていただいたのは、さらに効率的な議会運営を行うために、タブレット端末を活用してICT化を推進する。

今現在課題になっておりますのが会議の日程調整ですね。今現在、毎月紙をお配りして皆さんのスケジュールなどもお渡しいただいておるんですけれども、それではなく、議会グループウェアという

ものを導入しまして、皆さんのスケジュール管理ですとか、いろんなツールがありますので、こちらのコミュニケーションの活性化も含めた情報共有ツールとして、こちらのグループウェア導入を今検討しております。昨年、議会事務局でデモを受けまして、2社、サイボウズオフィスとLINE WORKSのほうのデモを受けました。説明はお聞きしておるんですけども、こちらを具体的に検討部会でご協議をいただければと思っております。

本日はタブレットの中にそのときのデモの資料も入れさせていただいておりますので、これについてちょっと概要ですけども説明をさせていただきたいと思っておりますので、西口のほうから説明させていただきます。

○部会長（福沢美由紀君） 西口主任主査。

○議会事務局員（西口幸伸君） それでは、グループウェアの説明ということでございまして、資料としまして参考1ということでサイボウズのほう入れさせていただいております。もう一社のほうはLINE WORKSという会社になっておるんですけども、まず最初に、このサイボウズオフィスという製品になります。その中で、グループウェアということでございますので、できる機能としましては、ページでいきますと10ページ、これは参考1の10ページのほうを見ていただきますと、利用別機能一覧ということでいろんなことができますという機能が書いてございます。非常にたくさんあります。スケジュールの管理もあれば施設の予約ということで、多分何か備品なんかを予約しておくためのものということでございますし、あと報告、会議での報告書の記録をしたものを皆さんと共有すると、そういうこともできるし、あと掲示板機能で文書を皆さん一緒に見ていただけるようなもの、それからメッセージです。これはメールというかLINEのようなものになるんかも分かりませんが、簡単に意見交換していただくようなものもございまして、あとメールの機能、それからファイルの管理等々あるんですけども、非常にたくさん機能があるというような状態になっております。ただ、使っていただくのは非常に限られてくるのかなあというふうに考えておまして、例えば掲示板で、一緒に情報、注意事項なんかを共有していただくような文書を見てもらうとか、あとはスケジュール管理で会議の日程を調整させていただくというようなことになってくるのかなあというふうに考えておりますので、ちょっと結構ソフトとしては機能がたくさんありますよということでございます。

サイボウズのほうはこのような形ですが、もう一つ、参考資料2でLINE WORKSをつけさせていただきました。

こちらのほうは皆さんご存じのところ、LINEというものがありますので、LINEの企業版とかビジネス版ということになっていまして、LINEとは別のアプリになっています。

なので、ご自身の携帯なんかでやろうとしますとLINEというアプリとLINE WORKSというアプリ、それぞれ入るような形になります。ただ、中身としましてはいわゆる先ほどサイボウズオフィスのほうでも説明させていただきましたように、していただける機能というのは同じような形になってくるんですけども、今ちょっと送らせていただきましたけど、掲示板の機能とかあとアンケートの機能、それからカレンダー機能、それからトーク、トークはおなじみで皆さんLINEのほうでやっていただいているかなと思うんですけどもそういう機能ができますよ。あくまでLINEとLINE WORKSということで分けられておりますので、プライベートの部分と公の部分と分かれるというようなイメージをしていただくといいと思います。

使っていただく機能もやっぱりそんなに、機能はたくさんありますけど限られていてカレンダーとか掲示板とか、アンケートも使われるかも分かりませんが限られてくるかなあと考えておりますけれども、そういう機能がありますということでございます。LINE WORKSのほうがちょっとなじみはあるのかなあというふうに、デモを受けたときにもそのように感じました。

○部会長（福沢美由紀君） 新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） では、続きまして検討課題の51番でございます。こちらは新規作成の旧姓使用ということで、新規でカルテをつくらせていただいております。

今回、旧姓が使用できる仕組みの検討とカルテのほうもつくらせていただいたんですけれども、これが資料6になります。

こちらもちょうと見ていただきながらですが、現在、市の職員におきましては婚姻や養子縁組等の理由によりまして旧姓を使用できる規定が令和5年4月施行で規定が整備されております。これによりまして、市議会のほうも婚姻や養子縁組などの理由により旧姓を使用できるように検討をしていくということで、課題で上げてございます。中には通称名などのお話もある、通称名も使えるという規定がある市議会もあるんですけれども、これにつきましては今後要綱などで整理をして、皆さんにも見ていただきながら議論を進めていければと考えております。

赤丸がついた検討課題については以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

一応、早く手をつけようという赤丸の部分の説明いただきましたが、ちょっと今からもう一遍、赤丸じゃない、次に送ったものについても簡単に、こういうものがあつたよということでちょっとご説明いただけますか。

新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） それでは、続きまして上から順番に説明させていただきます。

検討課題31、条例の検証及び見直し手続、手続の手順書の作成ということで検討内容が上がっております。こちらにつきましては、昨年度条例の検証を行いました。その際にたくさんの課題が出てまいりまして、条例全体としての課題としましては、社会情勢の変化があつたということで、コロナウイルスの感染拡大ですとかSDGsの取組、自治体DXの推進など、さらなる条文の見直しが必要だという議論の中で、今後災害や感染症等の危機管理の対応、議会BCPの作成も要るんじゃないかなどのご意見も含めて検討課題に上がりました。さらに、もう一点につきましては、障がい者への合理的配慮の視点でこの条例の見直しが必要ではないかというご意見が出ております。

さらには細かく、1条ずつ検証しましたので、それぞれ課題は出ておるんですけれども、先ほど申し上げました2点の大きな視点から再度条例を見直していく必要があるということで検討課題が上がっております。さらには、この条例の検証をどのようにしていくのか、今回10年たったということで初めて検証したわけですが、これを何年のスパンでしていくのか、どのようにしていくのかということも、今回ご議論、この4年の中でしていただく必要があるのかなと考えております。

続きまして、検討課題38、議会事務局の機能強化についてでございます。

こちらは、議会事務局の在り方について検討するというところでありますけれども、これはもう当初から上がっておる課題ですけれども、現在なかなか進んでいない課題の一つになっております。事務局の業務内容を分析して業務の見直しを行う必要があるのではないかと考えております。

この体制強化のためにはまず分析が必要であるんですけども、なかなかその分析が今できていない状況でして、これも検討課題ではありますけれどもちょっと優先順位というのが後になっておる状況です。

続きまして、検討課題48ですけれども、オンライン会議の実施についてということで、こちらにつきましては、委員会条例を令和3年3月に改正をし、オンライン会議を可とするため、6月にオンライン会議の要綱を制定したわけですけれども、現在実施はされておられません。ですので、研修を行う必要があるというご意見をたくさんいただいております。さらには、今は、感染症ということでオンライン会議の対象になっておりますので、それ以外に育児や介護などで出席できないですとか、そういう場合についても検討していく必要があるということで、検討課題が上がっております。

続きまして、検討課題50番、こちらは新規でカルテを作成させていただきました。

こちらは議員の介護休暇及び育児休暇についてということで、先ほど申しあげました委員会条例で欠席理由のほうを改正しております。そうすると、そちらの介護ですとか育児につきましての運用基準というのがございませんので、実際そういった休暇を取りたいとなった場合に、どのように運用していくのか、どのようにしていくのかということを具体的に整理する必要があるということで、課題を上げてございます。

令和3年の時点で既に県内の市議会には調査をさせていただいたんですけども、その時点ではどこも運用基準はございませんでした。さらには、多分その後皆さん検討が進んでいない状況だと思うんですけども、津市議会様のほうが一度ちょっと、条例改正が6月になって、皆さんよりも遅れていたんですけども、それは、運用基準を決めてから条例改正をしたいということで協議をされたと聞いております。ただ、その協議がまとまらずに6月定例会で改正をされたという経緯がございますので、かなりこの調整というか協議がなかなか進まないというのが今の現状でございます。ですので、今後は全国にちょっと目を向けながら調査を重ねていく必要があるかなと。ホームページなどではまだ全く情報がない状態ですので、直接先進市議会のほうにお問合せをして調査・研究していきたいなと考えております。

これは早急にちょっと運用基準を決めていかなければ実際に起こったときに何もできない形になってしまいますので、これも今後進めていきたい課題でございます。

続きまして検討課題52、こちらも新規でつくらせていただきました課題でございます。

議会図書室について。議会図書室の充実の検討ということで、こちらにつきましても、条例の検証の中で、議会図書室の活用についてたくさんご意見をいただきましたので、議会基本条例のほうにもございますので、この議会図書室は物理的にはなかなか難しい部分もあるんですけども、今ある状況の中でできることというのを検討していければということで課題に上げさせていただいております。

以上でございます。

**○部会長（福沢美由紀君）** ありがとうございます。

今年取り組んでいく優先課題4つとそれ以外のものを説明いただきました。

まず、先ほども申しあげましたが、優先課題の取り方がどうですか。

優先と言うたって、今年全部出来上がってしまうとかそういう優先じゃなくて、手を出す、足を出すという優先ということなのかな。で、丸がついていない部分については、かなり調査が必要であったりそういうことで水面下でやりつつということはあるので、全然やらないという意味ではないとい

うことは今の説明で分かってはいただいたんだと思います。

そここのところ、このままで進めていっていいですか。いいですかね。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) それでは、順番にちょっと皆さんにご確認、ご意見頂戴したいと思うんですけども、27番の議会の議決事件について、これですね。これについては、今立地適正化計画も追加すべきではないかという今までの議論があって、今そのスケジュールについても調べていただいたところなんです。皆さんにお聞きしたいのは、要するに立地適正化計画を入れるべきですか、どうですかということと、ほかに入れなくてはいけないような議決項目がありますかということなんですけれども、すぐ出るかどうか分かりませんが、もし何かあればご意見を頂戴したいと思います。

伊藤委員。

○部会員(伊藤彦太郎君) まずその立地適正化計画の話は前から言っている話ですし、議決事件に加えることに特に何も問題は私はないと思うんで、さっさと入れてしまえばええとは思いますが、そのほかの項目についてはちょっと私は思いつかないもので、また出てきたらとは思いますが、少なくとももう話が出てきて大分長いことその話出ていますので、もう早いところ入れるんだったら入れたほうがええと思います。

○部会長(福沢美由紀君) 渡邊局長。

○議会事務局長(渡邊靖文君) 前回、都市マスタープランを議決事件に加えるときには、全議員さんに何か総合計画以外で議決事件に加えるものがあるかどうかということアンケートを取らせていただいて、そのときはこの都市マスタープランがかなりの多くの議員さんが上げられて、まずはこれからということで入れました。そのときはアンケートを出してもらったという経緯がございます。

○部会長(福沢美由紀君) 皆さん、ほかはどうですか。

今、取りあえずお聞きしましたが、もう一遍例えば会派に戻って、こうやって立地適正化を入れようやないかという話になっておるんやけれどもほかにもありますかということも含めて、確認いただいたほうがいいですかね。その立地適正化計画についてはここで決めていってもいいのかなとは思いますが、ほかにありますかという部分については、また持ち帰ってもらっても構わないのかなと思うので、取りあえずここでは立地適正化計画を入れていくことを進めていきたいと思います。確認でいいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) これを入れましょうと、これについての例えばスケジュール感とかそんなん要りますか。決めていくこと、取りあえずその確認だけでいいですか。

渡邊局長。

○議会事務局長(渡邊靖文君) もうまずここで、部会の中で立地適正化計画入れていくということを確認いただきましたら、ここは決定機関ではないので、最終、推進会議の全体場でこれを上げることをまず決定いただくと。その前、決定する前には、少し議長のほうから市長に対しても議決事件に追加するという一度、市長ともちょっと一度お話をさせていただきたいというふうに思います。

もし、そのほかにもこの際入れていくということがあるんであれば一緒にしたほうがええと思いますので、まず今日は、立地適正化はここで部会としてこれをいただいたのであれば、それ以外のものを一度会派、また無会派は無会派で事務局から確認させてもらいますので、もしそれで追加があれば



併せてということをお願いをしたいと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 時期的にはいつまでというのがあると思うんですけども、どんなスケジュールで話し合ってもらいましょうかね、6月、7月。

渡邊局長。

○議会議務局長（渡邊靖文君） 立地適正化のスケジュールは今リーダーのほうから話がありましたので、今からで間に合うと思うんですが、もしほかの計画で議決にしたいとなったとして、その計画スケジュールがもう今年できるものがあるとか、そうなってくるとちょっとまたあきませんので、もう決めてもらうなら早く決めていただいて、執行部との調整を1回させていただきたいと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 6月の定例会がありますので、全員顔を合わせていただきますので、定例会中でもいいですか。この議会が終わるまでというか、出してもらうというスケジュールですけど。

渡邊局長。

○議会議務局長（渡邊靖文君） 出してもらうのはその定例会中に会派とか無会派の意見をいただいて、7月また全員協議会がございますので、その後推進会議に切り替えてそこで決定はできますので、その7月の前半、定例会が終わってから7月の全協までの間に部会できちっと確認するというふうなのが一番最短かと思います。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

そうしましたら、ここの部会の中で立地適正化計画では進めていこうという確認をいたしまして、ほかに議決事項がありますかということについては持ち帰っていただいて、この6月定例会中に各会派で出し合っていただく、あるのであれば出していただくということで確認をしたいと思います。部会の確認としてはそういうところですね。

次の案件ですけれども、47番子ども議会の実施について、いろいろ決めやんならんこともあるし初めてのことでもあるし難しいんじゃないかなというお話でありました。私が思うことは、要するに1月に言わなあかんのと違うか、こういうことが必要なんじゃないかということも含めて、まだ一回も先方とお話をしていないということが課題なのかなと思うんですね。要はいい子ども議会ができればいいなというのが一つで、あと、子ども条例を進めていく上で、せっかくやったら来ていただいた生徒さんにお話も聞きたいなということを思っているということも聞いているんですけども、取りあえずそこは外して考えて、この検討部会として、いい子ども議会にするにはどんなスケジュール感でやっていったらいいのかなと。一応ずっと、やっていこうということの方向で検討はしたいというプロジェクトチームをつくっていただいた中で前には向いていただいていたと思うんですけども、実際に全然進んでいないということやね。夏休みなのかなとこちらで思っていますけれども、それがどうかもまだ正直申し上げて分からんと思うんですけど、まずはその先方とお話するとかそういうことを手がけていった中でないと、スケジュールが分からないというのが正直なところだと思うんですけども、そういうことをまず進めてから具体的なスケジュールは決めていくということでもいいでしょうか。ここでまだ話もしていないうちに来年にしましょう、再来年にしましょう、今年にしましょうというのはちょっと分からないというのが、私は正直なところなんですけど。

新副部会長。

○副部会長（新 秀隆君） 実際に1月に教育委員会のスケジュール的なものが検討されるということやで、それまでに何をすべきかという、尾っぽが1月になるわけですから、それまでに教育委員会

と打診していかんと進めていけへんもんで、そこから遡ってきてスケジュールは立てていかないかななどは思うんですけど、その辺のタイミングが教育委員会と、いつできるかというその辺がちょっと課題かなと思います。

○部会長（福沢美由紀君）　そうですね。1月が尾っぽなのかどうかも私ちょっと分かりませんが、要するに教育委員会と、それで答弁いただくのは市になりますので、そこら辺とのすり合わせも必要かと思うし、子ども議会って議会って急に言いますが、議会ってどんなんやということをお話ししたり、質問を出すってどんなことやとかそういうことも、今までのプロジェクトチームでは議員が子供さんに、生徒さんについて一緒につくり上げていこうやないかということも言われていたらしいので、どんなやり方でするのかもまだ正直決まっていなところの中で、少なくともスケジュールについては一回きちんと正式に、例えば部会長、副部会長と、事務局も入ってもらって、先方と、こういうことをしたいんやけどどんなスケジュールでしたらええんやろうか、どういうふうにしたらええやろうか、どれが適切だろうかというようなことを話し合ってからスケジュールを決めたいなと思うんですけど、それでよろしいですか。それしかないんかなと思う。

小坂委員。

○部会員（小坂直親君）　スケジュールを決めるって、何を目的にするんや。

○部会長（福沢美由紀君）　子ども議会の目的ですか。

小坂委員。

○部会員（小坂直親君）　目的を理解していないのに、日程も何もない、何を子ども議会に求めるのか。

○部会長（福沢美由紀君）　何かプロジェクトチームで今まで検討してきてもらった内容というのはい出ますか……。

小坂委員。

○部会員（小坂直親君）　そういうのは分かるんやけど、何を聞きたいんや、何を子供に求めるんや。

○部会長（福沢美由紀君）　渡邊局長。

○議会事務局長（渡邊靖文君）　コロナ前で、一応この検討部会の中でプロジェクトチームをつくりました。そのときは、タブレットのプロジェクトチームと子ども議会のプロジェクトチームと分かれて、たしか3名選出していただいて議論をいたしました。その中で、プロジェクトチームで一応議論した結果だけまずはお伝えをいたします。

あくまで案でございますけれども、代表者1名とサポートメンバー2名、合計3名、これを各学校中学校から2グループ選んでいただくと。1グループは1名が代表者、これは質問をする人で、残り2名はその子をサポートするメンバー2人で、3名1組でグループを結成して、各学校中学校から2グループずつ、全部で6グループになるわけですかね。18名、ここをまず学校から選んで選出していただくと。中学生の一般質問に対して執行部が答弁をしていただく。これ2グループありますので、1人の代表者が大体質問時間は15分から20分かなと。質問のテーマは議会から参考テーマを示す方法、もしくは生徒が考えたものとする。議長は中学生にさせていただく。これは質問メンバー以外に応募するのか、各学校の生徒会長に依頼してはどうかという意見が出ておりました。事前の勉強会で、その議員が質問通告書等の作成に当たってサポートをするということです。

日程としては、夏休み期間中が望ましいだろうと。進め方としては、事前の勉強会を2回ぐらいは

実施せなあかんかなということで、中学生メンバーにはどちらか、せめて最低でも1日は参加をしてもらおうと。事前勉強会では質問のテーマの選択、それから議員から生徒へのレクチャー等を行う。で、事前勉強会以降、必要があれば議員が学校へ出向いて生徒とやり取りをしてはどうか。当日は、代表者チームメンバー全員が議場に着席、18名ですので18名が着席して代表者から質問をしていただくという、その辺でやっていったらどうかなというところまで検討していただいたということでございます。

○部会長（福沢美由紀君） これは、議会の中で検討しただけで、先方とすり合わせたわけではないんですね。確認ですけど。

渡邊局長。

○議会議務局長（渡邊靖文君） あくまでプロジェクトチームですので、3名のプロジェクトチームで議論をして、それを部会に報告したところで終わっております。

○部会長（福沢美由紀君） 議会改革推進会議ですので、議会がよくなっていくために子ども議会をすると。子供たち、生徒たちがこの議会というのが自分たちの暮らしに直結しているんだなということをつかっていたいたり、例えば自分たちの暮らしの中から一般質問が上がって、それが例えば解決するようなことにつながるようなことがあったら、それはそれですばらしいことなんだろうと私は思っているんですけども、そういうことも含めた上で、今度は先方とお話をして、前に進めることは皆さんこれ確認をしていますので、まずは話し合いたいと思っているんですけども。

それでどうですか。

小坂委員。

○部会員（小坂直親君） 事務局は、今年は難しいで来年やと言っておったやろう。

○部会長（福沢美由紀君） 今年難しいで、来年も含めて、一回も教育委員会としゃべってないので、まずはしゃべってみますということですね。

伊藤委員。

○部会員（伊藤彦太郎君） 取りあえずそこまでプロジェクトチームで考えてもらってあるんですし、これはたしか、有権者教育か何かで20歳が18歳に引き下げられたとかそういうのもあったと思うんですけどね。だからその前提でそんなんですというふうに教育委員会に行ってもらったんやったら、それはそれでええと思いますし、今年度はちょっと難しいんやというんやったらそれはそれでもええと思いますし、もう中学生と決まってるんやったらもう子ども議会と言わんと中学生議会というふうに名前をつけたほうがええのにか僕は思いますけれども。ちょっとざっくばらんにそんなことを思いました。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね。これ丸がついておるということは、今年どうしても子ども議会をするという意味でもなく、きちんと優先課題として上げて進めるということですので、話合いの結果来年になるんだったらそれも仕方ない、今伊藤委員も言いましたけれども、もうそういうことだと思っています。

名称のことも今提案がありましたので、ちょっとまた押さえておきたいと思います。

ほかにこのことについて何かありますか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） ないようでしたら、そういうことで進めさせていただいていいですか。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) 次の議会運営の原則ということですが、先ほど議会の情報化について、サイボウズとかLINE WORKSとか説明を受けましたが、多分今の説明だけでは分からないと思いますので、どこでこれを検討するかというと、やっぱりこの皆さんが実際にお話も聞いていただいて、触っていただいてやっていただくという過程が必要なのかなと思うんですけれども、実際、そのように進めていかせていただこうかと思うんですけど、それでいいですか。業者さんからそういう説明も受けるということなんですけれども、どうですか。

森委員。

○部会員(森 英之君) そうですね、やっぱり説明を受けた上で使い勝手がいいものというか、よりいいものを導入するべきで、そういう場を設けていただいてまずは実際にその2つのものについて触れるという機会をつくっていただければと思います。

○部会長(福沢美由紀君) それでは、皆さんもよろしいな。

新副部会長。

○副部会長(新 秀隆君) 今回のサイボウズとLINE WORKSですけど、LINE WORKSはウェブ会議もできるというふうなのは今ちょっと聞いたんですけど、サイボウズのほうもできるんですか、ウェブ会議……。

ああ、そこもまだちょっとこれからですね。やっぱり会議ができんようなシステムではちょっとつらいなというふうな意見です。

新山グループリーダー。

○議会事務局員(新山さおり君) それでは、今考えておるのが私たちが受けたそのデモですね。それぞれの業者さんからの説明をオンラインで受けたんですけども、部会の中で受けていただきまして質問もその場でできますので、確認もさせてはいただくんですけども、疑問点がたくさんあるかと思っておりますので、そういった場を設けさせていただいてはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○部会長(福沢美由紀君) 2社ともそれぞれということですね、はい。

渡邊局長。

○議会事務局員(渡邊靖文君) 先ほど副部会長からウェブ会議のご質問をいただきましたけれども、市の場合ですと基本Zoomも主催者にはならないということで、ちょっと使い方が、基本Webexというふうなことでオンライン会議とかもやっていますので、特に今度その新しいこのサイボウズとかそういうのでウェブ会議までやるところまでは今のところ考えてはないんですけど。

○部会長(福沢美由紀君) そこも含めての2社と。

1日で2社聞けるんですか、別々ですか。

新山グループリーダー。

○議会事務局員(新山さおり君) 1日で聞いていただけるかと思いますが、ちょっと調整のほうをさせていただきまして、次回の部会のときにできるように調整させていただきたいと思います。

○部会長(福沢美由紀君) それじゃあ、それは学んでからということでよろしくお願ひします。

今のように紙でスケジュールを出しておるようなことではあかんので、やはり優先的に取り組みたいと思います。

それでは、次の51番に移っていいですか。

旧姓使用について。これについて先ほどご説明いただきましたが、これは市ももう始めていることですので、早くやっていきたいなというのものもあるんですけども、聞いておりますと、議会ですと通称名のことも含めて何かやられているところが多いということですので、そこも調べた中で、旧姓使用、通称名使用も含めた何か要綱か何かを今度お出しして、検討いただくというふうなぐらいのスケジュールなのかな、今度なのか、その次なのかという。そこが入っているかどうかは、出てから削るなり出すなりはしてもよろうたらいいのかなと。議会だと何かどうも入っているところが多いらしいので、と思いますがどうですか。

(発言する者あり)

○部会長(福沢美由紀君) 市は旧姓だけです。議会なので。

新山グループリーダー。

○議会事務局員(新山さおり君) それでは、他市議会で使用の要綱ですとか出ているところもございましたので、次回開催の際に他市の情報を集めましてお示しできるようにさせていただくというのでよろしいでしょうか。

あわせて、案のほうが必要であれば先に要綱案をご用意させていただくかどうか、たたき台になりますけれども、よろしいでしょうか。

○部会長(福沢美由紀君) そうですね、もうこのまま進めたらいいと思うので、できたらやりましょう。

新山グループリーダー。

○議会事務局員(新山さおり君) では、そのように準備をいたします。

○部会長(福沢美由紀君) 優先課題については、一応細かく皆さんに確認させていただいたところですけども、特にほかありませんか。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) ないようでしたら、次回の開催日ですが、7月中旬から8月中旬頃というところで決めさせていただこうと思います。

(「全協までには」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) そうですね。視察がいろいろ入り組んでいますので難しいのかもしれませんが、皆さんの。今ここでこの日というのも出しにくいかと思うので、またスケジュールを出してもらった中でよさそうな日を選んで皆さんにお聞きするという方法でよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) そうしたら、そうさせていただきます。

それでは、今日の検討部会は以上なんですけれども、ほかに何か皆さんからありましたらどうぞ。いいですか。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) それでは、これで第80回の検討部会を終わります。ありがとうございました。

午後1時48分 閉会

この会議録は正当であることを認め、ここに署名する。

令和 5 年 5 月 26 日

議会改革推進会議検討部会長 福 沢 美由紀